

「学び続ける」ことの大切さ

昨年の11月から12月にかけて県立美術館分館で「水俣病展 2017」が開催されました。会場には、水俣病患者の方々の、病気や差別との闘いについての写真・資料の展示がありました。

水俣病患者の方々への差別や偏見は、間違った知識から始まりました。正しい知識があったならば、差別との闘いはなかったはず。正しい知識を得て、「差別をしない・許さない・見過ごさない」豊かな人権感覚を高めていくことが大切です。

また、水銀による環境汚染や健康被害の防止を目指す「水銀に関する水俣条約」第1回締約国会議が、昨年の9月にジュネーブ（スイス）で開催されました。その会議に胎児性水俣病患者の坂本しのぶさんが参加され、世界に向けて、水銀汚染の根絶を訴えられました。日本における公害の原点とされる水俣病問題は、健康被害をもたらしたばかりでなく、いわれのない偏見や差別の問題を引き起こしました。今でもまだ、水俣病はうつるのではないかという誤解をする人もおり、差別や偏見が残っています。

差別や偏見をなくすには、差別を受けた方々から直接学ぶことや学びを続けることが大切です。

この水俣病問題をはじめ、全ての差別や偏見は、差別される側の問題ではなく、差別する側の問題です。部落差別をはじめ、あらゆる差別問題について学び続け、正しい知識を得て、世の中に存在する全ての差別をなくしていきましょう。

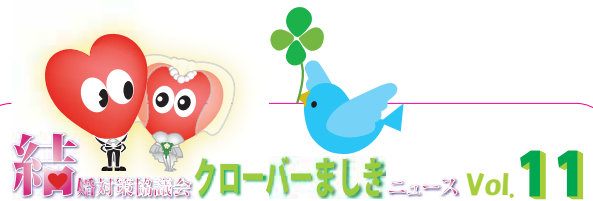


平成 29 年 町内・御船署管内の事故・事件の発生状況

事故・犯罪区分	発生状況(件)			
	町内		御船署管内	
	12月中	累計	12月中	累計
人身事故	10	99	14	235
物損事故	67	886	183	2330
空き巣	0	5	0	10
自販機狙い	0	0	0	0
万引き	0	10	5	50
オートバイ盗	0	2	0	3
自転車盗	0	7	0	25
車上狙い	0	2	3	20

件数は平成 29 年 12 月末現在

岡御船警察署・御船地区防犯協会連合会
☎ 282 - 1110 ☎ 261 ~ 264



結婚にまつわる最近の傾向とは？ ③

20～30代の未婚男女を対象とした国の調査によると、結婚できていない理由では多くが「適当な相手にめぐり会わないから」と答える一方、相手を探したいと思っても、自分では特に何も行動していない人が男女ともに多いそうです。

また、結婚していない理由では「自由や気楽さを失いたくない」「仕事などに打ちこみたい」「まだ若すぎるから」などの考えがあります。

若いうちは、まだ結婚を考えていなくても、年齢を重ねるにつれ、出会いのきっかけが少なくなっていく現状があり、いざ婚活を始めようと思ったとき、焦りが生まれてしまうようです。

婚活に少しでも興味を持っている皆さん、まずはお気軽に相談してみませんか？

岡益城町結婚対策協議会(男女共同参画センター輝らめき館内)

☎ 286-6665 ☎ 286-6927

✉ danjyo@town.mashiki.lg.jp